



Title	大阪大学 日本学報 第35号 表紙／目次
Author(s)	
Citation	日本学報. 2016, 35
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/55498
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大 阪 大 学

日 本 学 報

35

March, 2016

【特集：弔いと想起・語り】

- 折口信夫の「聖戦」と弔いの形をめぐる……川村邦光（1）
 鎮魂の花火の民俗学……丸山泰明（25）
 戦争の記憶と語りの共同性——「経験した主体」と「想起する主体」——村山絵美（47）
 〈孤人〉社会を開く——弔いを問う前に、「無縁社会」や「自殺社会」を超えて——兵頭晶子（63）
 弔い論をひらく……語り手：川村邦光／聞き手：永岡崇、北村毅、ファクンド・ガラシーノ（87）

【論説】

- 日本人女性の朝鮮引揚と「内鮮結婚」……宇都宮 めぐみ（111）
 ラテンアメリカから帝国を宣伝する
 ——ひとりのアルゼンチン日本移民が語る西洋・オリエント・新世界……ファクンド・ガラシーノ（129）

【研究ノート】

- 明治期地方婦人会機関誌にみる社会活動——浪華婦人会編『婦人世界』（1901～1907）をめぐる——楫野政子（153）
 和辻哲郎の文化史研究における〈他者〉の現れについての考察——〈異なるもの〉をめぐる——弓谷葵（165）
 儀礼的空間における沖縄アイデンティティ継承のこころみ
 ——大正沖縄県人会の「敬老会」を事例に——猪岡叶英（177）
 帝国日本の従軍僧研究に向けて——日露戦争第9師団従軍布教使佐藤巖英の生涯と著作——稲田光太郎（189）
 「笑い」と反骨——『大阪陽新報』にみる石川正通の「沖縄コンプレックス」——仲村紗希（201）

【卒業論文】

- “本場”と“地元”の狭間で——2000年以降の日本におけるジャマイカ音楽文化——池田太陽（211）
 母子生活支援施設の歴史と現状——住居対策から緊急保護・自立支援へ——木谷恵里加（237）

【書評】

- 書評：名ざしと名づけのあわいで——あらたな関係性を紡ぐ場所としての言葉（茶園敏美『パンパンとは誰なのか——キャッチという占領期の性暴力とG1との親密性』）……日高由貴（267）
 書評：平野敬和『丸山眞男と橋川文三：戦後思想への問い』……盛田良治（275）
 書評：永岡崇『新宗教と総力戦——教祖以後を生きる』……五十嵐恵邦（281）

【対話と方法】

- Australia-Japan Graduate Conference 2015に参加して……鹿野由行、中山良子（287）